

## 重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

### 【事務及び事業等の名称】(3) 文化行政の主要施策

#### ①文化の振興 鑑賞機会の提供

### 【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

#### ■事業の概要

- ・優れた芸術文化に触れ親しむことにより、豊かな情操を培い健全育成に寄与することと岩手芸術祭に出品された優秀な作品を展示し、村民に芸術鑑賞の機会を提供する。また県内外で開催される美術展等の優れた芸術文化の鑑賞機会を提供する。

#### ■実施状況

#### 1 文化の振興 鑑賞会の提供

##### (1) 岩手県青少年劇場

- ・期 日 令和3年5月31日
- ・場 所 九戸村体育センター
- ・鑑賞者 村内小学生

##### (2) 岩手芸術祭巡回小・中学校美術展 i n 九戸

- ・期 日 令和4年2月1日～2月2日
- ・場 所 HOZホール（九戸村公民館）
- ・鑑賞者 30人

##### (3) 芸術文化プラットフォーム事業

- ①県高等学校総合文化祭郷土芸能発表会鑑賞会【コロナウイルスの影響により中止】  
(伊保内高等学校郷土芸能委員会出場)
- ②芸術文化鑑賞会（美術館・博物館等鑑賞会）【コロナウイルスの影響により中止】

#### ■成果と課題

- ・前年度に続き、新型コロナウイルスの影響により一部の事業は中止とした。実施した事業については三密などの対策や換気、手指消毒を徹底しクラスターの発生はなかった。来年度以降についてもコロナ禍であることが予想される。今年度で開催した事業の運営方法を参考としながら、少しでも安心して参加いただける環境を整えていきたい。

## 重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

### 【事務及び事業等の名称】(3) 文化行政の主要施策

#### ② 文化の振興 発表機会の拡充

### 【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

#### ■事業の概要

- ・ 伝統芸能を広く公開し、相互の交流を深めるとともに、技術の向上及び伝統芸能伝承活動の活性化を図る。また、山伏神楽を伝承する県内外の神楽団体による発表・鑑賞機会を提供し、文化財愛護思想の高揚を図る。村民へ、なかなか触れる機会の少ない音楽・芸能を提供して豊かな心を育成する。

#### ■実施状況

#### 1 文化振興 発表機会の拡充

##### (1) 九戸の山伏神楽祭典【コロナウイルスの影響により中止】

- ・ 期 日 令和3年12月5日
- ・ 場 所 H O Z ホール (九戸村公民館)

##### (2) 二戸地区郷土芸能発表会【コロナウイルスの影響により中止】

- ・ 期 日 令和4年2月6日
- ・ 場 所 二戸市 ※開催地：令和4年度九戸村実施予定 (二戸管内会場輪番制)

##### (3) 産業・芸術文化まつり【コロナウイルスの影響により中止】

- ・ 期 日 令和3年10月29日～10月31日 (展示部門)  
令和3年11月3日 (発表部門)
- ・ 場 所 H O Z ホール (九戸村公民館)、九戸村山村開発センター

##### (4) 新春書き初め大会・練習会

###### ①練習会

- ・ 期 日 令和4年1月5日
- ・ 場 所 九戸村山村開発センター
- ・ 参加人数 12人

###### ②大会【コロナウイルスの影響により中止】

- ・ 期 日 令和4年1月9日
- ・ 場 所 H O Z ホール (九戸村公民館)、九戸村山村開発センター

#### ■成果と課題

- ・ 新型コロナウイルスの影響により中止事業が相次いだ。感染、三密発生の危険性が少ないと判断された書き初め大会については実施する意向であったが、練習会後の状況を鑑み、大会は中止とした。
- ・ 来年度についても新型コロナウイルス感染症の動向、また主となって協力いただく村民、団体の意向を汲んで開催の可否を判断していきたい。

## 重点的な事務及び事業等の点検及び評価のシート

【事務及び事業等の名称】(3) 文化行政の主要施策

③ 文化財保護の充実

埋蔵文化財の保存・保護活動

【事務及び事業等の概要、実施状況及び課題等】

### ■事業の概要

- 1 黒山の昔穴遺跡国指定史跡活動  
黒山の昔穴遺跡国指定史跡に向けて、範囲測量及び立木取得補償を行う。
- 2 黒山の昔穴遺跡の活用事業  
黒山の昔穴遺跡の保存・保護活動の一環として、江刺家小学校の協力のもと、「私達の黒山の昔穴 花いっぱい運動」を実施する。
- 3 妻ノ神遺跡調査  
令和元年度に実施した発掘調査で出土した遺物の分析・整理作業を行う。
- 4 埋蔵文化財活用事業  
埋蔵文化財展示会・史跡巡りを開催する。

### ■実施状況

- 1 黒山の昔穴遺跡国指定史跡活動  
国指定範囲の測量と立木取得補償手続きを完了した。
- 2 黒山の昔穴遺跡の活用事業  
・第15回私達の黒山の昔穴 花いっぱい運動（カタクリの種の植栽）  
(1) 内 容 期 日：令和3年6月29日  
参加者：46名（江刺家小児童・教諭）
- 3 妻ノ神遺跡調査（発掘調査に係る室内整理作業）  
(1) 期 間 令和3年4月1日～令和4年3月31日  
(2) 内 容 令和元年度に実施した発掘調査出土遺物（土器・石器・炭化物等）の分析・整理作業を行った。
- 4 埋蔵文化財活用事業  
・埋蔵文化財展示会を4会場で開催した。（来場者：延215人）  
・黒山の昔穴遺跡現地学習及び九戸政實公ゆかりの中世城館巡りを開催した。（参加者：延56人）また城館の標柱及び説明板を更新した。

### ■成果と課題

- ・ 江刺家小学校で実施しているカタクリ種の植栽のほか、国指定史跡指定を目指し、黒山の昔穴遺跡を活用した社会教育事業の展開を図り、広く遺跡の周知活動を継続する。
- ・ 妻ノ神遺跡発掘調査については、大量の土器等が出土したことから、長期にわたる整理・分析作業を要してきたが、令和5年度に報告書の刊行を予定している。
- ・ 今年度から国庫補助金を導入し埋蔵文化財活用事業を展開しているが、今後もわかりやすい埋蔵文化財の活用を目途にこの事業を継続する。